



玉井神社春季祭禮（4月7日(日)）

玉井三区若桜会が囃子の音色と威勢のある掛け声を響かせました。

3月定例会開催	平成31年度当初予算 一般会計総額43億9,643万円	2～3
	予算審査特別委員会の審査と意見	4～7
	条例・補正予算など可決	8～10
	ここが聞きたい 8人の議員が登壇	11～18
	議会全体研修報告	19
一般質問		

くりに向けて 億9,643万円

3月定例会開催

総務費 12億4,068万円(15.8%↓)

●地域おこし協力隊による情報発信事業	405万円
●健康ポイント制度検討委員会	17万円
●線量低減化活動事業	4億780万円
●台湾交流事業	748万円

民生費 10億456万円(1.1%↓)

●総合福祉センターさくら指定管理業務委託	4,641万円
●社会福祉協議会運営費補助事業	2,228万円
●老人健康管理事業	425万円
●村外保育施設利用者交付金	240万円
●在宅子育て応援交付金	240万円
●子どもの医療費助成事業費	5,284万円

衛生費 2億6,020万円(5.8%↓)

●原発事故関連健康管理事業	289万円
●妊産婦健康管理事業	996万円
●合併処理浄化槽設置整備補助事業	746万円

農林水産業費 2億9,591万円(12.6%↓)

●農業機械等共同利用等整備事業補助金	1,241万円
●農業再生事業 (地域おこし協力隊設置・エゴマ栽培促進等)	444万円
●有害鳥獣被害防止対策事業	364万円

商工費 8,186万円(0.5%↑)

●観光レクリエーション施設管理業務委託	50万円
●アットホームおおたま指定管理業務委託	1,500万円

3月定例会は、4日から15日までの12日間の会期で開かれました。
内容は、村長提出案件25件（条例改正8件、補正予算7件、平成31年度一般会計等当初予算8件、人事案件2件）および議員発議1件、合わせて26件が提出され、審議した結果、原案どおり可決しました。請願は1件、陳情は1件提出され、審査の結果は8ページのとおりです。

新年度当初予算

健康長寿の村づくり

前年度比5.6%減↓

一般会計

43

最重点施策

現下の行政課題に対応するための事業、自立する村づくりのための各種施策に取り組んでまいります。

1. 持続可能な農業を推進するための支援
2. 公設民営化による村づくりの活性化
3. 大玉村産米のブランド化
4. 待機児童ゼロのための保育士の確保
5. 地域での高齢者見守り制度などの導入
6. 健康長寿の村づくり
7. 国内外交流の推進
8. 地域とともに推進する学校づくり

教育費 4億8,969万円(2.6%↑)

- 平和教育推進事業 100万円
- 地域学校協働事業 662万円
- 文化財保護（地域おこし協力隊設置など） 784万円

土木費 3億1,461万円(3.4%↓)

- 土砂災害ハザードマップ作成事業 700万円
- 道路等側溝堆積物撤去事業 1億2,074万円

公債費 4億2,673万円(8.3%↑)

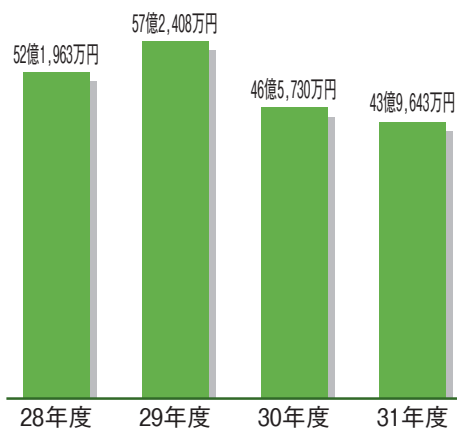
消防費 1億7,506万円(5.6%↑)

- 消防施設整備事業 2,606万円

平成31年度 予算額

会 計 名	予 算 額	対前年度比
一般会計	43億9,643万円	5.6% 減
国民健康保険特別会計	8億9,955万円	0.4% 減
玉井財産区特別会計	605万円	33.0% 増
農業集落排水事業特別会計	1億1,713万円	1.0% 減
土地取得特別会計	2,663万円	447.9% 増
介護保険 特別会計	7億4,329万円	0.8% 増
(保険事業勘定)		
(介護サービス事業勘定)	130万円	増減なし
後期高齢者医療特別会計	6,531万円	2.4% 減
水道事業 会 計	1億6,145万円	0.4% 減
(収益的支出)		
(資本的支出)	1億4,472万円	22.9% 減

一般会計予算の推移



新年度予算を審査 予算審査特別委員会

平成31年度一般会計、特別会計など8会計の当初予算については、予算審査特別委員会を3月8日に設置しました。

総務文教分科会、産業厚生分科会の2分科会を設置し、11・12日は各部の部長、課長等に予算の説明を求め、審査しました。

14日の予算審査特別委員会では、各分科会からの報告を受け、特別委員会の意見を取りまとめました。

15日の本会議最終日には、予算審査特別委員会委員長が審査の結果について全議案可決すべきものと報告しました。



総務文教分科会

3月11日



産業厚生分科会

3月11日

分科会質疑

ポイント

分科会では、村政全般にわたり多くの質疑がありました。その中から、いくつかをお知らせします。

総務文教分科会

政策推進課

健康長寿の村づくり

問 どのように進めるのか。

答 担当は健康福祉課とし、関係する課を含め庁内横断的に進める。政策推進課が調整役を担う。



健康長寿推進村民会議事務局会議（4月12日）

地域づくり活動

サポート事業助成金

問

地域づくり活動サポート事業助成金は、申請の方法や内容がわからない村民も多いのではないか。

答

村民の皆さんにわかりやすい内容にし、周知方法を工夫したい。



助成金を利用した大玉12区地域ふれあいデー（11月23日）

広島平和記念式典派遣事業

問 第10回広島平和記念式典派遣事業を、どのように実施するのか。

答 大玉中学校で被爆体験伝承講話などを実施する。小学5・6年生、中学生、保護者など多くの村民の方に参加していただけるよう計画している。



第9回広島平和記念式典派遣事業（8月6日）



子ども虐待への対応

問 子どもへの虐待に対する村の対応は。

答 いじめ、虐待、不登校など、学校だけでは解決できないこともある。保護者・関係団体・スクールソーシャルワーカー等と連携した対応が必要だと考える。

生涯学習課

おおたま学

問 村の自然・歴史・文化・民俗・人物などを学ぶ「おおたま学」の進捗状況は。

答 ウェブ版の教材を作成している。小学校と中学校の総合的な学習などで4月から使用する。

問 一般村民は利用できるのか。

答 今は利用できないが将来的に利用できるよう検討したい。

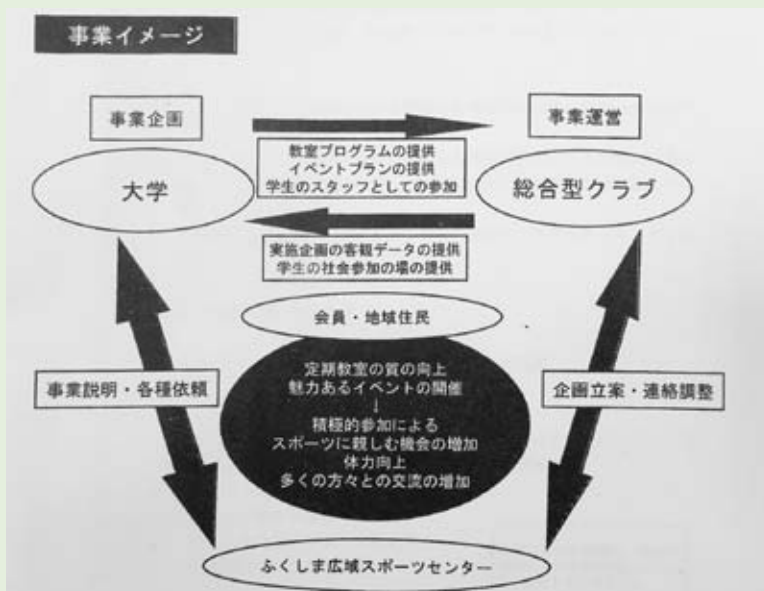


小中学校の総合的な学習で活用する「おおたまを学ぶ」

スポーツ活動の推進

問 ふくしま広域スポーツセンターとの連携は。

答 平成31年度モデル事業として、各種プログラムなどの活動支援を受ける予定である。おおたまスポーツクラブの活性化を目的とし、企画立案・運営・イベント応援など具体的な支援は福島大学が行う。



産業厚生分科会

住民生活課

国民健康保険税

問

国民健康保険事業の財政運営が県へ移行したことで、国保税の上昇が心配されている。今後の見込みは。

答

前年度繰越金の活用や基金残高などを考慮すると、今後一定期間の急激な上昇は抑えられる見込みである。健康づくり事業を推進し、医療給付を抑制することで国保税の長期的な安定を図る。

健康福祉課

健康長寿の村づくり

問

健康長寿の村づくり事業で、県の新たな制度との連携は。

答

健康長寿の村づくり事業の組織を設置する。効果的な事業計画を策定していく。また、実施のための指導者を育成し各種健康事業を推進する。



県が推進している健康長寿
(福島民報2月22日付掲載記事)

再生復興課

除染や悪臭防止対策

問

安心・安全のための除染事業の状況は。

答

除染土壌の搬出を計画に沿って行っている。いち早く搬出完了と仮置場等の原状回復に努める。



除染土壌搬出作業

問

悪臭防止対策の状況は。

答

悪臭防止などの環境整備は、県と連携して指導を行っていく。



議会による小高倉地内環境調査(7月20日)

産業課

大玉村産米のブランド化

問

米などの農産物ブランド化の必要性は。

答

ブランド化にむけ、検討委員会を設置して進めていく。



建設課

水道料金

問

水道料金の改定は必要か。水道事業の民間業務委託は検討しているのか。

答

水道料金の大きな改定は当面行わない。民間の業務委託は現在考えていない。



予算審査特別委員会の審査意見

14日は決算審査特別委員会の意見をまとめました。意見は次のとおりです。



総務部

① 職員の心の健康相談について、回数を重ねてくると回答する側の遠慮等の意識が働く恐れがあることから、システムでの判断のみでなく、管理職等が見逃さないよう見守ること。

② 地域づくりサポート事業補助金について、地域コミュニティの醸成のための施策であること

から、その目的を実現したい誰もが利用できるよう、補助の内容や補助率等の見直しを検討するとともに、周知方法を工夫すること。

③ 健康長寿の村づくりに関して、意識付けや住民意識の高揚が重要であり、ポイント制度導入が目的とならないようにすること。

④ 日本で最も美しい村連合に要する経費について、住民の意見を傾聴するなど、「いづね」に対する認識を調査のうえ、今後の施策に反映すること。

教育部

① 中学生の保護者の車での送迎について、福島第一原子力発電所事故の影響を受け、生徒の肥満傾向等の問題も懸念されているため、精神力の強化や体力向上の観点から、自転車通学や徒歩通学など、もつ一度立ち返って考慮すること。

② 子どもの虐待が社会問題化される中、学校・家庭・地域が今まで以上に連携し、子どもを見守る体制が必要と考える。スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを含めた体制づくりの調査・検討をすること。

③ 生徒のスマートフォンなどの適正な使用について、学校のみ指導では限界があることから、

保護者や教育委員会と連携した指導体制を構築すること。

④ 図書管理運用事務事業について、データベースの利用方法の周知を工夫するなど、利用実績の向上に努められたい。

⑤ 村民プールの活用について、様々な活用方法・活性化策などと検討し、利用者の増加を図ることが健康長寿の村づくりにもつながることから、多くの方々の意見を集約し、実現すること。

住民福祉部

① 健康長寿の村づくりのために各種健康事業の推進とともに指導者の育成に努めること。

② 除染事業及び悪臭防止対策事業においては、住民が安心して暮らせる環境整備を進めること。

産業建設部

① 大玉村産米のブランド化に向けて、様々な形態での農業支援を行うこと。

条例・補正予算など可決

議会が注目する予算

マチュピチュ交流事業

補正額 50万円

補正予算の内容は。

マチュピチュの子ども達に文房具などを贈る。
大玉カントリークラブでのチャリティーイベントからの寄付金を充当する。

有害狩猟鳥獣捕獲報償

補正額 73万円

増額の理由は。また県補助などの内訳は。

捕獲頭数が増加したためである。イノシシ1頭あたり、県補助金が1万3千円、村報償費が2万円である。

広場屋外トイレ撤去工事

補正額 200万円

場所はどこか。また、撤去後にトイレの設置は。

アットホームおおたま下の広場のトイレを撤去し、代わりの施設は設置しない。

平成30年度 3月補正予算

会 計 名	補 正 額	総 額
一般会計	△ 2億6,479万円	50億4,972万円
国民健康保険特別会計	1,743万円	10億4,031万円
アットホームおおたま特別会計	△ 517万円	6,767万円
農業集落排水事業特別会計	—	1億2,428万円
土地取得特別会計	577万円	1,063万円
介護保険特別会計	—	7億6,931万円
水道事業会計【収益的支出】	—	1億6,211万円

※農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計【収益的支出】は、歳入歳出予算額を調整し、予算総額を変更しない補正である。

人事案件

教育長の任命

現職の佐藤吉郎氏（二本松市油井）の再任について同意した。任期は、平成31年4月3日から令和4年4月2日までの3年間。

固定資産評価審査委員の選任

現職の武田好廣氏（玉井字中田）の再任について同意した。任期は、令和元年6月21日から令和4年6月20日までの3年間。

3月定例会に提出された請願・陳情

件 名	提 出 者	付託委員会	審査結果
教職員の長時間過密労働の解消にむけ意見書提出を求める請願書	二本松市亀谷 福島県教職員組合安達支部 支部長 渡邊ルリ子	総務文教	採 択
陳情書 仮称「おおたま地域活性化センター」設置のお願い	大玉村大山字南小屋 大玉9区 区長 根本 好一 ほか 3名	総務文教	採 択

議員発議

意見書1件を提出

意 見 書	提 出 先
教職員の長時間過密労働の解消にむけた意見書	内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣

※意見書…地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめたもの。地方自治法第99条には、「地方自治体の議会は、当該普通公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる」と規定されている。具体的には、議員が発議して本会議にはかり、議長名で関係機関に提出する。

1月31日臨時会 議決結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第1号	アットホームおおたま管理運営基金条例を廃止する条例について	原案可決
議案第2号	アットホームおおたま設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第3号	あだたらの里おおたま観光レクリエーション施設設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第4号	アットホームおおたま等の指定管理者の指定について	原案可決
議案第5号	平成30年度大玉村一般会計補正予算について	原案可決
議案第6号	平成30年度アットホームおおたま特別会計補正予算について	原案可決
議案第7号	平成30年度大橋平線道路改良舗装工事請負変更契約について	原案可決

2月22日臨時会 議決結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第8号	平成30年度応急仮設住宅撤去工事（安達太良Ⅰ期）請負変更契約について	原案可決

3月定例会 議決結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第9号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第10号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第11号	大玉村特別会計条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第12号	大玉村税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第13号	大玉村帰還環境整備交付金基金条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第14号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第15号	大玉村ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第16号	大玉村道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第17号	平成30年度大玉村一般会計補正予算について	原案可決
議案第18号	平成30年度大玉村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第19号	平成30年度アットホームおおたま特別会計補正予算について	原案可決
議案第20号	平成30年度大玉村農業集落排水事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第21号	平成30年度大玉村土地取得特別会計補正予算について	原案可決
議案第22号	平成30年度大玉村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第23号	平成30年度大玉村水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第24号	平成31年度大玉村一般会計予算について	原案可決
議案第25号	平成31年度大玉村国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第26号	平成31年度大玉村玉井財産区特別会計予算について	原案可決
議案第27号	平成31年度大玉村農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
議案第28号	平成31年度大玉村土地取得特別会計予算について	原案可決
議案第29号	平成31年度大玉村介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第30号	平成31年度大玉村後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第31号	平成31年度大玉村水道事業会計予算について	原案可決
議案第32号	大玉村教育委員会教育長の任命について	原案可決
議案第33号	大玉村固定資産評価審査委員会の委員の選任について	原案可決
議員発議第1号	教職員の長時間過密労働の解消にむけた意見書について	原案可決

1月31日臨時会

**アットホームおおたまの指定管理者に
おおたま村づくり株式会社を指定**

アットホームおおたま設置条例の一部改正(主なもの)

○指定管理者の①指定、②業務、③管理の基準について等を定めたもの。

アットホームおおたま等の指定管理者の指定

○指定管理者が管理する施設は、アットホームおおたま及びあたらの里おおたま観光レクリエーション施設の一部とする。

○指定管理者をおおたま村づくり株式会社とし、指定期間は平成31年3月1日から令和4年3月31日までとする。

全国町村議会議長会自治功労表彰

2月6日に開催された全国町村議会議長会定期総会において、武田悦子議員が議員在職15年の自治功労により表彰されました。

3月定例会では表彰の伝達が行われました。



武田悦子議員
(議員在職15年)



3月定例会では、3月6日に6人、7日に2人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約した内容は、質問順に11ページから18ページです。

たけだ 武田	えつこ 悦子	1. 子ども達の成長に必要な施策とは 2. 高齢者が安心して暮らせる村づくりを	11ページ
すどう 須藤	ぐんぞう 軍蔵	1. 大玉村の農業の現状と方向付けは 2. 健康長寿の村づくりについて	12ページ
おしやま 押山	よしのり 義則	1. 国の施政方針に対し、村の対応と施策展開は	13ページ
まつもと 松本	のほる 昇	1. アットホームおおたまの指定管理について 2. 農村環境改善センター視聴覚室の利用について	14ページ
すずき 鈴木	やすひろ 康広	1. 大玉村に教育格差はあるのか 2. アットホームおおたまの指定管理業務委託と観光	15ページ
ほんた 本多	やすお 保夫	1. 長井坂地内新設村道について 2. 教育委員会が考える安全安心と教育指導について	16ページ
さわら 佐原	さゆり 百合	1. 安心して預けることができる放課後児童クラブ 2. 最新の情報発信を	17ページ
ささき 佐々木	いちお 市夫	1. 大玉村の農業の現状と将来の展望は 2. 大玉村を「健康長寿の村」にとの考えは	18ページ

※一般質問…議員が村の行財政全般にわたって、村に対し説明を求めまたは所信をたずること。
大玉村議会の一般質問は、一人30分以内で答弁時間は含まない。

一般質問

**ここが聞きたい！
8人の議員が登壇**



子ども達の成長に必要な施策とは

質問趣旨

子ども達を取り巻く状況は年々変化している。健やかに成長するための施策の充実について伺う。

武田 大玉村子育て支援センター建設の進捗状況は。

また、保護者からの相談への支援体制を広域的に取り組めないか伺う。

住民福祉部長 建設にかかる基本構想図作成のため、利用対象者から意見をいただいた。建設費用が高額のため、国の補助金を待っている状況である。

広域的な相談支援体制は理想だと考えている。近隣の市とも協議しながら検討したい。

武田 いじめや虐待など、村内での現状と対応は。

住民福祉部長 児童虐待の認定件数は平成29年度が3件、30年度は0件である。大玉村虐待等防止地域協議会が対応しているが、さくらカ

フェ、担当課、保健師、臨床心理士に気軽に相談できる機会を増やしたい。

教育長 いじめの件数について平成29年度は、小学校で11件、中学校で3件である。いじめ防止等対策委員会を設置し、学校をあげて防止に努めている。

武田 貧困により学ぶ機会を奪われている子どもがいる。学ぶ意欲のある子どもを応援するため、自治体として奨学金制度を作るべきだと思う。考えを伺う。

教育部長 国や県、民間も含めた奨学金制度の利用推進をしたいと考えている。今後の国や県の総合的な対策を見据え、他自治体の状況やニーズを把握し、本村の制度創設について検討していきたい。



子育て応援の手引き

高齢者が安心して暮らせる村づくりを

質問趣旨

誰もが安心して暮らすことのできる地域は、高齢者にとってより安心できる村となる。そのための施策を求める。

武田 安心して暮らせる地域づくりのため、地域包括ケアシステムの推進と協議体※の活動が求められる。状況について伺う。

住民福祉部長 県北医療圏域で退院調整ルールを策定し、介護や医療の関係機関と連携調整を図っている。また、医療や介護などの多職種で構成し、問題解決を話し合う地域ケア会議を開催している。また、百笑元気の会※を毎月一回程度開催し、住民同士による助け合い活動の仕組みづくりなどを提案していただいている。今後は村全体だけでなく地域に入った活動ができないかと考えている。

武田 健康で長生きするための仕組みを作る上

で、人材の確保・育成が重要となってくる。どのように進めるのか伺う。

住民福祉部長 社協のデイサービスやサロンなどで、保健師などが指導をしている。今後、意欲のある方に専門職から技術の継承をしていき、人材育成を進めていきたい。

村長 担当職員のスキルをあげるなどして、人材確保にあたりたい。また公共施設を活用し、高齢者の憩いの場となる施設の確保に努める。

他に次の質問がありました。

- ・障がい者への支援体制の充実について
- ・松くい虫対策について



地域づくりについて話し合う「百笑元気の会」

大王村の農業の現状と方向付けは

質問趣旨

国連は今年から「家族農業の10年」として、多国籍企業や穀物メジャー主導に対し、地域と家族農業を守る方向を示した。



須藤 国連の提唱

しているその意義をどう受け止め村政、農政に位置づけるか同う。

産業建設部長 家

族からなる家族経営と組織化・共同化による地域が一体となり取り組む農業経営も家族農業の1つと捉えている。

家族農業を支援することは持続可能な農業経営と安定的食糧生産を守り、後継者不足解消にもつながると考えている。引き続き農業経営の維持継続を支援していきたい。

須藤 大玉風の

持続可能な農業地域づくりにおける独自の施策は何か同う。

村長 家族農業

が大玉の農業を支えている。安心・安全な食糧の生産や強い農業を育成しなければと考えている。

産業建設部長

水稻や生態系に配慮した農薬の使用



安定的な農業経営をめざして

用、栽培方法に対して支援を行い、収益的面も含め、家族農業が持続可能なものになるように、施策を進めていきたい。

須藤 直売所は家族農

業の最たるもので表舞台である。さらなる発展に向けての新たな方策を伺う。

村長 直売会の方が生

産した野菜を、村づくり株式会社が集荷して直売所に並べ販売する方法を検討するよう、お願いをしている。

健康長寿の村づくりについて

質問趣旨

村は今年の最重要施策と掲げているが、住民が参加したくなる目に見える取組みが強く求められる。

須藤 最重要課題と唱

えた大きな理由を伺う。

村長 村民の健康寿命

を延ばすことが主目的である。

須藤 推進する組織の

枠をどのように構築するのか伺う。

村長 組織横断的に全

村をもつて取り組むべきと考えている。

須藤 健康ポイント制

度などを行うに当たり、外に出て集う、参加する、学ぶ等、インパクトのある取組みが求められる。考えを伺う。

村長 ポイント制度は

あくまでも手段の一つである。検診の受診や老人クラブなどの各種事業に参加など、ポイント制度と外での活動をどう位置づけるかについて、村民会議の中で制度設計していく。大玉村独自のものを、県との連携も視野に

入れながら進めていきたい。

須藤 村民自ら村と一

緒に健康づくりに取り組むことは、村民の健康改善と財政の健全化の相乗効果となると考える。また国保税の均等割は、他の保険制度と同じようになくすべきである。健康づくりと均等割をなくすことを、一体で進めることが大事であると考えている。

村長 均等

割の関係については、国や県に対し、町村会を通して強く要望していく。

また健康づ

くりによつて、寿命延伸、病気の早期発見につながる。



ヨガサークル（おおたまスポーツクラブ）



国の施政方針に対し、村の対応と施策展開は

質問趣旨

地方創生事業の「国土強靱化」「観光立国」「全世代型社会保障への転換」に向けての対応を伺う。

押山 国土強靱化の事業展開と防災訓練などの内容を伺う。

産業建設部長 社会的なインフラ整備は重要な施策と位置づけ推進している。土砂災害に対しては、砂防設置や、橋梁の長寿命化工事、水道管の更新など、それぞれ進めている。また、土砂災害ハザードマップを作成し、今年実施される防災

訓練に生かしていく。**押山** 玉井瀬戸原・油

村長 防災に対する先人の知恵は参考になる。訓練に生かしていく。玉井瀬戸原・油



玉井瀬戸原・油刈地内の「石積み棚田」

押山 名倉山登山道は、大震災鎮魂の事業として取り組むと聞いていた。3月11日の山開き開催な

住民福祉部長 地域住民の皆さんが、子どもの様子を通して情報をつかむのは難しい問題と認識している。行政や民生委員さんに情報を寄せていただければと考えている。

押山 児童虐待の根絶に向け、虐待等防止地域協議会など制度化されているが実態が見えない。民生児童委員の協力員設置を図ってほしい。

教育長 国・県の総合的な対策を見据え、各自自治体の取り組み状況やニーズの把握に努め、教育環境の充実を図りたい。

押山 教育無償化、貧困格差の対応として、高校生・大学生などに、村として給付型奨学金制度は考えられないか。

しかし、近年の豪雨は過去の歴史に照らししても当てはまらないものもある。しつかり想定し対応したい。

村長 鎮魂として五百羅漢像を設置したいと希

ど、鎮魂の行事に向けての体制づくりを伺う。望していたが、登山道整備が優先と考えた。整備が進んだ時点で取り組みたいと考えている。



名倉山登山道

他に次の質問がありました。
・施政方針の内容を伺う

アットホームおおたまの指定管理について

質問趣旨

アットホームおおたまの指定管理者の主体性を求める。

松本 昇 議員



松本 現在の工事進捗状況を伺う。

産業建設部長 3

月5日現在で交付金事業分の工事については、約92%の進捗状況であり、3月22日の工期完了に向けて順調に進んでいる。

また、村事業分の工事については、37・3%の進捗率であり、4月中旬をめどに工事完了となるよう進めている。

松本 従業員の確保は計画通り進んでいるのか。

産業建設部長 指定管

理者である村づくり株式会社

が計画的に募集等を行っている。村

としても従業員

の確保と研修は

極めて重要な課題と考

えており、十分に協力

していききたい。

松本 職員を

村づくり株式会

社に外向させる

考えはあるか。

村長 外向さ

せる考えはない。

松本 村が考



リニューアルオープンを待つアットホームおおたま

えている初年度の来客数及び売り上げを伺う。

産業建設部長 年度開

始から2カ月後の本格オープンということ、休業中の客離れを考慮し、過大な設定をするのは難しいと考えている。利用者数及び売上げは、平成29年度実績の内数を初年度目標としている。

※。

※平成29年度の実績

宿泊者数 4千146名

個室休館者数 942名

広間休館者数 8千300名

入浴者数 3万9千474名

総収入 約9千400万円

農村環境改善センター視聴覚室の利用について

質問趣旨

公共施設利用は、村民第一に優先すべきではないか。

松本 野内与吉資料室

の常設展示による視聴覚室の現在までの来客数と

村内外の内訳を伺う。

総務部長 入館者数は

昨年の4月から本年の2

月までで733名である。

村内か村外かの内訳は把握していない。

松本 執行成果による

と平成27年度が1千78

0人、28年度が1千80

4人、29年度が1千85

5人の視聴覚室の利用実

績がある。常設展示の利

用期間を上半期と下半期

に、それぞれ1カ月程度

に期間を限定できないの

か伺う。

総務部長 行政財産使

用を1年間として許可し

ている。展示物を外に持

ち出し、移動するなどし

て、貴重な資料の破損や

紛失が発生する恐れもあ

ることから、期間を限定すべきではないと考えている。

村長 資料館の目的は、

資料の保存、研究、調査、教育、また村のPR、展示というものであると考えている。本来なら村で

資料館を新たに設置すべきところだが、財政的に難しいため視聴覚室を提供しているというのが実情である。村民の皆様にもご理解いただきたいと考えている。



農村環境改善センターの2階視聴覚室にある野内与吉資料室

大王村に教育格差はあるのか

質問趣旨

子ども達が学力を高める機会が、十分に確保されることを求める。



鈴木 村内2つの小学校で学力テストなどの結果に差はあるのか。

教育長 全国学力学習状況調査は、毎年の対象者が違うため単純に比較することができない。

トータルで見るとほぼ全国平均並みであり、小学校間に学力の格差はないと認識している。

鈴木 大玉中学校と近隣自治体の中学校では学力差はあるか。

教育長 近隣自治体の学力が公表されていないため比較できない。全国の学力と比較すると平均並みとなっているので、他と比べても学力差はないと捉えている。

鈴木 子どもが学力を認識し、向上の意識を持つ機会に外部試験などがあると考えるが。

教育長 中学校は保護者会が年8回、外部業者のテストを行っており、子ども達が学力を認識する機会となっている。



共に学ぶ「おおたま未来塾」

鈴木 長期休業時の課外授業など、学校以外で勉強する機会を提供しているか。また今後どのように展開していく必要があると考えるか。

教育長 地域学校協働活動事業の一環として、夏休みに希望する小学生を対象に、地域の方や大學生による学習指導をしている。また、中学3年生を対象に、教員を目指す福島大学の学生が学習指導を行う事業を、昨年は18回実施し39名が参加した。生徒と保護者ともに良かったとの意見をいただいている。今後工夫しながら、継続と拡充をしたいと考える。

アットホームおおたまの指定管理業務委託と観光

質問趣旨

アットホームおおたまの指定管理業務委託が、村民の健康増進と交流人口増加の起爆剤になることを望む。

鈴木 村内にはアットホームおおたまのような宿泊施設はいくつあるか。

産業建設部長 温泉宿泊施設として、金泉閣、大玉リゾートヒルズホテル、フォレストパークあたらの3施設がある。

鈴木 入湯税の収収はどれくらいか。

総務部長 入湯税の総額は、平成28年度、29年度ともに1200万ほどとなっている。

鈴木 アットホーム再オープン後に村民対象の優待サービス補助は継続するか。

産業建設部長 村づくり株式会社による施設の運営となるが、村が60歳以上の方を対象に行う老人健康管理事業は引き続き継続していく。

鈴木 利用者数の増加を見込んで、今後健康管理事業の利用範囲を、村内のほかの施設にも拡大してはどうか。

住民福祉部長 老人健康管理事業の助成について検討していきたい。

で、アットホームは日帰りでも該当し、他の施設では2泊以上3人以上といった条件で事業を実施している。村内のほか施設での利用については検討していきたい。



観光の起爆剤として期待するアットホームおおたま

長井坂地内新設村道について

質問趣旨

長井坂地内新設村道の早期実現を求める。



本多 長井坂地内新設村道への取り組み状況を伺う。

産業建設部長 工事を行うための詳細設計、基準点測量、地形測量、路線測量を行い、工事に必要な図面等を作成している。

本多 設計段階から4年経過しているが、工事着工ができていない理由を伺う。

産業建設部長 土地購入費、補償費等を合わせると試算額は約3億円にのぼる。国土強靱化事業として橋梁の耐震長寿命化工事や道路の拡幅、生活道路の維持補修等があり、当該路線新設には財源の確保が極めて厳しい状況である。引き続き補助金、交付金等財源の調査、検討を行っていく。



新設計画で予定している接地点（県道石筵・本宮線）

本多 地元との協議はどのように行われているのか伺う。

産業建設部長 案を絞るための選定協議という形で説明会を開催した。その後の説明会等は実施していないが、状況に応じ区長や地元にも説明をする考えである。

教育委員会が考える安全安心と教育指導について

質問趣旨

児童・生徒の安全安心の確保と、適切な教育指導を行っているのか問う。

本多 スクールバスの車検は何年に1回か。また自主的な保守点検は、年に何回実施しているのか伺う。

教育部長 車検は1年に1回受けている。また運行前に運転手による安全点検も実施している。道路運送車両法では、車検のほかに3カ月ごとの定期点検整備がうたわれており、安全安心のためにも予算も含め検討する。

本多 スクールバスの保守点検の実態を把握しているのか伺う。

教育部長 安全安心の観点から点検整備の在り方を検討する。

本多 中学校の飲料水から臭いがするとのことである。問題はないのか伺う。

教育部長 校庭の部室

脇にある水道で、配管の末端に位置し、利用頻度が少ないことや、冬期間に凍結防止のため閉栓していることが原因と思われる。設備改修により改善が図られるかどうか、学校や水道係と相談しながら検討する。

本多 管理点検は業者が行うのか、または職員が行うのか伺う。

教育部長 簡易水道法の規定により、学校で塩素滅菌の検査を毎日実施している。貯水槽は年に1度業者をお願いし、洗浄および消毒をして対応している。

本多 農業体験作文への教職員の指導内容を伺う。

教育部長 教師が

自分の思いを子どもに書かせるようなことはないと認めている。確認したところ、何回か書き直しをしたことは聞いている。教師が自分の意見を子どもに書かせるようなことがあれば、正していきたい。



子ども達の通学に安全安心を

佐原 佐百合議員



安心して預けることができる 放課後児童クラブ

質問趣旨

「職員配置基準※の緩和」で、職員の負担が増え子どもの安全と保護者の安心を守れるか伺う。

佐原 共働き家庭などの小学生が、下校後や長期休業時に過ごす場所に放課後児童クラブがある。現在の児童数と職員数は何人か。

住民福祉部長 2月1日現在で合計196名が登録しており、通常利用については154名である。職員数は9名であり、既定の人数を預かれる職員体制を確保している。

佐原 政府は、全国の市町村会からの要望に応じて、職員の配置基準を緩和するとした。自治体の裁量にもよるが、法案が通れば職員一人でも多くの子どもの預かることも予想される。職員の配置基準が緩和されることへの村の考えは。

住民福祉部長 児童の安全確保のため現行の基準を維持したい。

佐原 職員は、子どもを見守るだけではなく、日ごろの様子や心身の変化も感じ取ろうと思う。保護者や学校と協同して

支援することも大切な仕事だと考える。さらに充実した支援をするため、職員を増やす考えはあるか。

住民福祉部長 放課後児童クラブの役割は重要であり、学校との連携も必要と思う。職員の増員については、状況を見ながら検討したい。

佐原 現在の場所では狭くないのか。

住民福祉部長 総合福祉センターさくら屋内体育館の一部改修の基本設計を進めている。



児童数が増えている放課後児童クラブ

※職員配置基準
全国一律の基準で、1クラスの定員をおおむね40人以下、職員2人以上の配置を義務付けている。

最新の情報発信を

質問趣旨

村民の皆さんが、村の最新情報をホームページやSNSから得られるよう、改善できないか。

佐原 村の公式ホームページ、SNSの掲載手順は。

総務部長 公式ホームページは各課広報委員が情報をアップロードしている。その後、政策推進課で承認し、掲載する流れとなっている。公式SNSに規定は特にない。

佐原 以前は、ホームページ上に最新の回覧文書や配布文書が掲載されていた「掲示板」があったが、閉鎖されている。いち早く情報を収集し、再確認するのに役立つと思う。再度掲載する予定があるか伺う。

総務部長 早々に復活させ、これまでどおりの定期的な掲載に努めたい。

称を変更し、最新情報をわかりやすい所に掲載する考えはあるか。

総務部長 今後、広報委員会でも検討しできるだけ利用しやすいホームページの作成に努めたい。



村の公式ホームページ

大王村の農業の現状と将来の展望は

質問趣旨

農業経営の高齢化や担い手不足など、持続的な農業に大きな不安を感じる。今こそ、本村独自の特色ある農業振興基本計画の樹立を望む。



佐々木 担い手の確保という観点から問題点と課題は。

産業建設部長 昨年度の後継者育成資金の利用者はいない。また新規就農者の実績も過去5年間はない。

今後は「地域おこし協力隊」により、空き家の調査、農業法人による研修生の受け入れ、インターン、ＪＴアーンでの新規就農者の受け皿づくりなどを積極的に推進したい。

佐々木 村内での人・農地プラン策定状況は。産業建設部長 地域的なものと、谷地地区、大谷地地区の２カ所を策定している。また大王村全域も対象に策定している。今後、各地区で人・農地プランをどのように推進していくかが課題と認識している。

佐々木 協同組織や法人組織の実態は。

産業建設部長 中山間地域直接払いの組織が15組織、多面的機能支払交付金の事業組織



農業法人による担い手不足解消に期待する

が8組織ある。農業法人は11法人が登録となっている。

佐々木 遊休地や耕作放棄地の解消策は。

産業建設部長 農地再生事業で、48・6畝の再生を実施した。再生後については菜の花の作付けやエゴマの会の組織化などにつながっている。

佐々木 農業の振興策という観点で「米のブランド化」を図る意欲、思いを伺う。

村長 ＪＡと連携したブランド化で米単価の底上げを図っていききたい。また、施設園芸や、畜産も含めた全体的なブランド化も目標である。

大王村を「健康長寿の村」との考えは

質問趣旨

健康長寿宣言でいきいきとして暮らせる長寿村を目指すべき！

佐々木 福島県ですすでに「健康長寿」に向けて政策を実践中であるが連携策は。

住民福祉部長 県の健康長寿計画では平成30年度までの取り組みが多いが、新たな事業はまだ示されていない。

佐々木 村民プールの活用策は。

教育部長 平成30年度の利用状況は31年2月末現在で、2万2千161名である。施設の老朽化が問題であるが、不具合が発生した場合でも、早急に対応し、利用者に不便をかけないように努めている。

佐々木 「大王村健康長寿の村」宣言をすべきと考えるが。

村長 中身の伴わない宣言にならないように、村民会議の中で検討していく。



村民プールを活用し健康長寿



沖縄食糧株式会社

議会全体研修

期 日 2月11日(祝)～13日(水)

研修地 沖縄県

目 的

沖縄の歴史・文化・戦後復興を学ぶとともに、福島県産米流通の現況や健康長寿を育む地域コミュニティを調査し、本村の復興・再生に資する。



熱田公民館

議会全体研修は、福島空港を利用し、沖縄県で研修を行いました。研修は、常任委員会ごとにテーマを設け、3月定例会にて研修報告を行いました。

女性平均寿命89歳日本一の北中城村の 地域コミュニティ活動

きたなかぐすくそん
総務文教常任委員会

北中城村では、「熱田自主体操サークル」と複合型生涯学習施設「あやかりの杜」を視察しました。

熱田自主体操サークル りっかりっか会

村の事業「シニア健康推進リーダー養成講座」を終了した方が中心になり立ち上げました。自治会が運営する熱田公民館に、毎週火曜日午後2時から約20人が集まり、1時間たつぷり身体を動かします。体操のベースは、介護予防体操で、村役場理学療法士が「北中城風」にプログラムを作りました。理学療法士が、立ち上げから2カ月間は毎回参加し、その後も定期的にサポートしています。休憩時間には、お互いの近況や健康状態を報告しあっています。

北中城村の高齢者の



スクエアステップで頭と体の運動



リーダーのかけ声に合わせて

「幸せ度」、主観的に幸福と感じている高齢者は52・8%で、全国よりも高く、一般高齢者の72・8%が「健康状態が良い」と回答しています。北中城村では、80歳以上の元気な女性を対象に「美寿きたなかぐすく」

を毎年3人選出し、輝く女性代表として、村のPR活動で活躍しています。高齢者も誇りと自信と自己肯定感を持つて社会参加できる環境づくりが重要です。

本村の「地域コミュニティ活動」に必要なのは、①集う場所、②人材の養成、③足の確保であり、村が取り組む「健康長寿の村づくり」に大いに参考となる研修でした。

原発事故後の福島米流通の現況

昭和57年からはじまる沖縄と福島の絆

産業厚生常任委員会

「沖縄食糧株式会社」(浦添市)で原発事故後の福島米流通の現況を伺い、次にスーパー「サンエーメインプレス店」(那覇市)では米の売り場を視察しました。

沖縄食糧株式会社

沖縄と福島との米のつながりは、昭和57年からはじまります。昭和56年は全国的な冷害と台風被害に見舞われましたが、福島県経済連は全農の要請に応え、自主流通米900トンを出荷したことから、福島県と沖縄県の米のつながりが強くなりました。



ふくしまの米をPRするのぼり旗

いたる沖縄県民の皆さんに感謝するとともに、私たち自らが福島県の安心・安全を広く発信し、誇りと自信を持って農産物を生産し、流通できる体制を強化すべきと認識する機会となりました。

沖縄食糧株式会社では、安心して福島産の米を食べていただくために、独自の放射性物質検査基準を設け、検査体制を確立しています。平成24年4月には、マスコミに自主検査体制を発表し、福島県産米の販売を再開して

視察した米の売り場には、福島産の米をPRするのぼり旗が立ち、一番売れ筋の真ん中に福島産米が占めていました。

スーパーサンエー メインプレス店

ます。また、検査結果をホームページで公表し、米のパッケージにも表示してきました。



スポーツ少年団紹介

大玉村の子ども達たちを応援すべく、前号に引き続きスポーツ少年団の紹介をいたします。
今回は大玉ジュニアタイガーススポーツ少年団と大玉ミニバスケットボールクラブです。

大玉ジュニアタイガーススポーツ少年団

私たちは団員18名で活動しており、来年で創立40周年を迎えます。「挨拶がしっかりできる団員」「チームワークを大切にできる団員」など5つの目指す団員像を掲げ、指導者が日々指導に当たっており、野球を通じて子ども達の健全育成に努めております。

昨年7月に開催された福島県児童野球選手権大会では2勝を挙げることができました。今年は、県北予選を勝ち抜いて県大会に出場し、昨年を上回る成績を残すことを目標にしています。

現在団員を募集中です。野球の経験・未経験を問いません。少しでも興味がある子は是非足をお運びください。野球大好きな仲間が皆さんを待っています。

練習日時

火・木 午後7時～
土・日 午前8時30分～

練習場所

大玉村民グラウンド
大玉村民屋内運動場



相馬 PRIDE 杯少年野球交流大会（第3位）

大玉ミニバスケットボールクラブ

昨年度からスポーツ少年団に登録し、大会等へも参加しています。練習は子ども達の負担にならないよう、毎週木曜日と日曜日の週2回、バスケットボールの基礎を中心とした練習をしています。

また、バスケットボールの基礎だけでなく、練習や大会を通して、基礎体力づくりや、両親・仲間・道具などクラブに携わるものへの感謝の気持ち、団体スポーツの楽しさや仲間を思いやる気持ちなど、子ども達の健全育成に寄与できればと考えております。体験もできますので、ぜひ、遊びに来てみてください。

練習日時

木 午後7時～
日 午前9時～

練習場所

大山小学校体育館・大玉村民体育館



卒団式（2月10日）

編集後記

5月1日から令和元年が始まり、新しい時代の幕開けとなりました。

明治・大正・昭和・平成と激動の時代を乗り越え、地域の知恵袋として元気に活躍された皆さんがいます。これから、夢と希望をもって、時代の変化に対応し駆け抜けていくことでしょう。

本村では今年度「健康長寿の村づくり」に取り組みます。庁内に健康長寿推進係を置き、健康寿命を延ばすための事業を進めます。

皆さん、「元氣いきいき」笑顔で健康長寿をめざして頑張りましょう。

（佐原佐百合）

議会広報編集特別委員

- 委員長 ● 鈴木 康広
- 副委員長 ● 本多 保夫
- 委員 ● 佐原佐百合
- 委員 ● 松本 昇
- 委員 ● 佐々木市夫
- 委員 ● 菊地 利勝